

ノリトレン錠 10mg、ノリトレン錠 25mg

【この薬は？】

販売名	ノリトレン錠 10mg Noritren Tablets 10mg	ノリトレン錠 25mg Noritren Tablets 25mg
一般名	ノルトリプチリン塩酸塩 Nortriptyline Hydrochloride	
含有量 (1錠中)	ノルトリプチリン塩酸塩を ノルトリプチリンとして 10mg	ノルトリプチリン塩酸塩を ノルトリプチリンとして 25mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、三環系抗うつ薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、飲みはじめてすぐには抗うつ効果はあらわれませんが、飲み続けると、脳内に作用し、脳内の神経伝達を改善し、抑うつ気分を和らげます。
- ・次の病気の人に処方されます。
精神科領域におけるうつ病およびうつ状態（内因性うつ病、反応性うつ病、退行期うつ病、神経症性うつ状態、脳器質性精神障害のうつ状態）
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して飲む量を減らしたり、使用を中止したりすると、嘔気、頭痛、倦怠感（けんたいかん）などの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・緑内障の人
- ・心筋梗塞の回復初期の人
- ・前立腺疾患などで尿が出ない人
- ・過去にノリトレン錠に含まれる成分あるいは他の三環系抗うつ剤で過敏な反応を経験したことがある人
- ・モノアミン酸化酵素阻害剤を使用している人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・尿が出にくい人
- ・眼内圧が高い人
- ・心不全、心筋梗塞、狭心症、不整脈（発作性頻拍、刺激伝導障害など）など心臓に障害のある人、または甲状腺機能亢進（こうしん）症の人
- ・てんかんなどのけいれん性疾患がある人、または過去にこれらの疾患と診断されたことがある人
- ・そううつ病の人
- ・脳に器質的な障害がある人、または統合失調症になることが考えられる人
- ・衝動的な行動を起こしやすい病気を合併している人
- ・死にたいと強く思ったり考えたことがある人
- ・小児
- ・高齢の人

○この薬には併用してはいけない薬（モノアミン酸化酵素阻害剤）や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○24歳以下で抗うつ剤を使用した場合、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。24歳以下でこの薬を使う人は医師と十分に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ノリトレン錠 10mg	ノリトレン錠 25mg
一日量	1日 30～75mg から使用を開始します。その後、必要に応じて徐々に増量されますが、150mg を超えない量で医師が決めます。	
飲む回数	1日量を2～3回に分けて飲みます。	

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とぼして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

昏睡（意識がなくなる）、錯乱（意識が乱れる、考えがまとまらない）、不安、激越（感情が激しくたかぶる、落ち着きがない）、異常高熱、筋強剛（手・足の曲げ伸ばしがぎこちない、筋肉のこわばり）、反射亢進（こうしん）、けいれん、不整脈、ショック、嘔吐（おうと）などの症状があらわれる可能性がありますので、いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。この薬を飲んでいる間、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることもあるので、このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- ・不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師に相談してください。この薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。
- ・ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。
- ・この薬は、飲む量を減らしたり、飲むのを中止した場合に、嘔気・頭痛・倦怠感（けんたいかん）・易刺激性（ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来すこと）・情動不安・睡眠障害などの症状があらわれることがあります。そのため、この薬の使用を終了する場合には、時間をかけて、少しずつ量を減らしていきます。医師の指示どおりに飲んでください。
- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下などの症状があらわれることがあるため、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しまし

た。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
てんかん発作 てんかんほっさ	意識の低下、考えがまとまらない、筋肉のつっぱりやけいれん、発作前の記憶がない、判断力の低下
無顆粒球症 むかりゆうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
麻痺性イレウス まひせいイレウス	吐き気、嘔吐（おうと）、激しい腹痛、食欲不振、腹がはる、便がでない

同類薬（アミトリプチリン、マプロチリンなど）であられる、特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあらわれる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



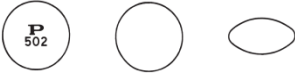

同類薬の重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 (Syndrome malin) あくせいしょうこうぐん (シンドローム マリン)	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (S I A D H) こうりにょうホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん (エスアイエイディーエイチ)	けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振
心室性頻拍 (Torsades de pointes を含む) しんしつせいひんぱく (トルサド ポイントをふくむ)	息切れ、動悸（どうき）、脈が速くなる、意識がなくなる、胸の痛み、胸部異和感、気を失う

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、38℃以上の発熱、ふるえ、けいれん
頭部	意識の低下、考えがまとまらない、意識がうすれる、判断力が低下する、頭痛、意識がなくなる
口や喉	のどの痛み、吐き気、嘔吐（おうと）、飲み込みにくい
胸部	吐き気、息切れ、動悸（どうき）、胸の痛み、胸部異和感
腹部	激しい腹痛、食欲不振、吐き気、腹がはる
手・足	脈が速くなる
筋肉	筋肉のつっぱりやけいれん、筋肉のこわばり

部位	自覚症状
便	便がでない
その他	発作前の記憶がない、判断力の低下、気を失う

【この薬の形は？】

販売名	ノリトレン錠 10mg	ノリトレン錠 25mg
PTP シート		
形状	円形の糖衣錠 	円形のフィルムコート錠 
直径	6.4mm	7.6mm
厚さ	3.55mm	3.7mm
重さ	105mg	155mg
色	うすいだいだい色	だいだい色
識別コード	P502	P503

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ノリトレン錠 10mg	ノリトレン錠 25mg
有効成分	ノルトリプチリン塩酸塩	
添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、ステアリン酸マグネシウム、プルラン、ポリオキシエチレン(105)ポリオキシプロピレン(5)グリコール、精製白糖、酸化チタン、カルナウバロウ、黄色五号	乳糖水和物、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、ステアリン酸マグネシウム、軽質無水ケイ酸、ヒプロメロース、マクロゴール6000、酸化チタン、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。

- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大日本住友製薬株式会社

(<http://www.ds-pharma.co.jp/>)

くすり情報センター

電話番号：0120-885-736

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)